



支部だより

東北支部

化学への招待～八戸高専～ 開催報告

はじめに

2024年9月28日(土)、10月5日(土)の2日間にわたり、化学への招待が八戸工業高等専門学校にて開催されました。化学や実験に興味のある小中学生が多く集まり、県内外から延べ85名が参加してくれました。

化学への招待

小中学生を対象としたこのイベントは、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学などに関連した実験を通じて、小中学校の理科の授業との関連やその先の専門的な化学を学ぶ体験型学習です。

参加者は、各日午前と午後の実験テーマを希望して体験学習に臨みました。今回は次の11テーマを設けました。

手作り鏡をつくろう (門磨義浩)/プラスチックを作ってみよう (北村洋樹)/液晶温度計を作ってみよう (齊藤貴之)/新しい分離濃縮技術 固相抽出を学ぼう (本間哲雄)/身近なポリマーで遊ぼう (佐藤久美子)/染色体を観察してみよう (山本歩)/身近なものをつかって酸化還元をみてみよう (金子賢介)/色素を分離してみよう～ニンジンとホウレン草の色素～ (菊地康昭)/実は意外と簡単に作れる



鉄～鉄の作り方と強さを学ぼう～(丸岡大佑)/七宝焼きのアクセサリーをつくろう (千葉憲一)/酸化と還元の化学～金属鉛をつくろう～(新井宏忠)。

小中学校の理科の実験では扱わない実験器具や装置を使い、様々な物質の変化を見て、熱心に実験に取り組んでいました。夢中になって実験をする子供の姿を見て、見学をしていた保護者が途中参加をして、親子で化学の面白さを話し合う場面もありました。

昼休み後には、小中学生・保護者と教員・TA学生の相談会を設け、進路や学校生活など多岐にわたる質問が活発に行われました。前回より相談ブースを増やしましたが、相談ブースが足りずに廊下で立ちながら相談をする姿も見られました。

おわりに

参加者からは、「ジュースを分離したら色素が出てきて驚いた」、「中学で習った酸化還元を実践できて面白かった」、「化学は身近なところに関わっていることが知れた」などの感想が聞かれ、有意義な2日間になったと思われます。これからの様々な工夫を通して化学の魅力を発信していきたいと考えています。

〔川口恵未 (八戸工業高等専門学校)〕

© 2025 The Chemical Society of Japan